

**都市減災サブプロジェクト**  
文部科学省委託研究  
都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト サブプロ③  
**Urban Resilience**  
都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究

**Mission**  
阪神・淡路大震災、東日本大震災をはじめとする過去の災害での経験・教訓をもとに、他のサブプロジェクトと協働しながら日本全国の防災研究者の英知を集め、防災担当者と一般市民双方に焦点をあてた災害対応能力・防災リテラシー向上のため災害情報提供手法とトレーニング手法について提案する。具体的な対象地域として、首都圏・中京圏・関西圏の3圏を対象に、構築した災害情報提供サービスと防災リテラシー教育・訓練システムについて、実証実験によってその効果を検証し、高い災害回復力（レジリエンス）を持つ社会の実現を目指します。

■サブプロジェクト1  
■サブプロジェクト2

6,009

Urban Resilience. 2012 - MEXT Special Project on Reducing Urban Mega Earthquake Disasters.

Goal: 本研究の目指すもの

- 大規模な被害発生が予想される首都直下地震及び、南海トラフ地震による被害を最小にとどめ、高い災害回復力を持つ都市の実現を目指す。
- ICT分野での新しい要素技術を活用して、円滑な応急・復旧対応を支援する災害情報を提供するための2つのシステムで構成されるしくみを開発する。  
第1は、関係者間の状況認識統一を可能にするクラウドを活用したG空間情報処理システム。  
第2は、社会全体に対してキメの細かい災害情報を提供できるマイクロメディアサービス体制の開発。
- 災害対応者に対する国際基準に準拠した研究・訓練体系の構築と、個人や家庭、各組織における事業継続能力を高めるための科学的研究成果に基づく学際融合的な啓発手法とコンテンツの整備を行い、防災リテラシーの向上方策を検討し、自助・互助・共助・公助力を高める。
- その前提として、東日本大震災で現在進行中の応急対応・復旧復興に関する災害経験とこれまでの被災経験を比較して、防災力向上に寄与する知見・教訓を導く。

**都市減災サブプロジェクト**  
**Urban Resilience**  
都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究

**Geo-portal Online**  
ジオポータル オンライン

首都直下地震 関西圏都市減災に関する地図 通山純治先生の地図 能島暢呂先生の地図

都市減災ジオポータルは、サブプロジェクト③の地図共有サイトです。研究成果として得られる過去の災害の教訓、ハザード・被害・対応・復旧・復興の想定、影響の分析などの地図や手法を共有し、複雑化する都市の減災に向けた新たな知見を得ることを目的としています。

Story Maps: 都市減災ジオポータルの地図を写真、テキストでわかりやすく解説

あなたのまわりの直下型地震: 都市減災ジオポータルのデータをマッシュアップし、全国任意の場所で、簡単に地震災害の想定を行えるウェブ・アプリケーション

近畿圏整備計画から見た今後の復興計画に必要な情報基盤

1970-2000年 都市的土地利用の増加  
2040年には1970年代の圏域人口レベルに  
<高度都市整備地区の空間的存在>  
大都市部の人口減少地区に  
防災的利用可能性のある土地が存在  
○2地域居住戦略の可能性  
○中山間地の中期縮退戦略の受け入れ先  
○災害復旧・復興時の有効利用空間としての役割  
関西圏域全体の土地利用バランスを考慮した戦略

避難所収容率と準避難所受け入れ困難度

●名古屋を例として、南海トラフ巨大地震時や大規模水害時の避難所収容率を算出し、クラスター分析によって収容特性の類型化を行った。  
●名古屋を例として、準避難所必要人数を算出し、受け入れ困難度を示した。

下水道管長さ被害延長(km) (背景)とポイント流動人口データ(棒グラフ)

被害総延長km(集約なし)  
0.00 以下 0.32161 以上



